

応用地質学を取り巻く世界は大きく変わってきており、学会が果たすべき役割や会員の皆様の要望も急速に変化しつつあります。日本応用地質学会は昨年創立60年を迎えましたが、選歴を機に会員各位の実情、感じていることや学会に対するご意見ご要望を聞きとり、皆様にとって意義ある活動をしていこうと思います。つきましては、より良い学会運営のために忌憚のないご意見をお聞かせください。なお、いただきました情報は当会のプライバシーポリシーに則り適正に扱うとともに、日本応用地質学会の将来像を探る目的にのみ使用致します。お忙しい所恐縮ですが、どうかよろしくお願い申し上げます。

事務局利用欄

会員種別・所属などの属性を教えてください。

1. 会員情報
Q1 かつて学生会員でしたか? (1つ選択)
Q2 会員種別 (複数選択可)
Q3 所属支部 (1つ選択)
Q4 現在の学会活動 (複数選択可)
Q5 年代 (回答任意)
Q6 会員期間 (1つ選択)
Q7 性別 (回答任意)
Q8 ご自身の専門分野 (1つ選択)
Q9 所属機関の属性 (勤務先の主業務: 1つ選択)
Q10 加入学会 (国内・あいうえお順) (複数選択可)

会員の皆様と日本応用地質学会のつながりについて教えてください

2. 現在の学会活動について
Q11 本部主催のシンポジウム (6月開催) に参加する頻度は? (1つ選択)
Q12 本部主催のシンポジウム (6月開催) に参加しない理由を教えてください (250文字以内)
Q13 本部主催の研究発表会 (10月開催) に参加する頻度は? (1つ選択)
Q14 本部主催の研究発表会 (10月開催) に参加しない理由を教えてください (250文字以内)
Q15 本部主催の講習会・見学会等に参加する頻度は? (1つ選択)
Q16 本部主催の講習会・見学会等に参加しない理由を教えてください
Q17 支部主催の総会・シンポジウムに参加する頻度は? (1つ選択)
Q18 支部主催の総会・シンポジウムに参加しない理由を教えてください (250文字以内)
Q19 支部主催の講習会・見学会等に参加する頻度は? (1つ選択)
Q20 支部主催の講習会・見学会等に参加しない理由を教えてください (250文字以内)
Q21 学会誌「応用地質」についてお聞きします。 (「ほとんど読まない」を選択した会員は次の設問で理由をお書きください)
Q22 ほとんど読まない方は理由を教えてください
Q23 学会誌「応用地質」への投稿についてお聞きします。 (1つ選択)
Q24 投稿したいと思わない、投稿できない理由を教えてください (250文字以内)
Q25 学会の委員会活動 (研究部会、小委員会を含む) についてお聞きします。 (1つ選択)
Q26 参加したいと思わない、参加したいができない理由を教えてください (250文字以内)
Q27 ホームページについてお聞きします。 (1つ選択)
Q28 ほとんど閲覧しない理由を教えてください (250文字以内)
Q29 ニュースリストについてお聞きします。 (1つ選択)
Q30 「ほとんど内容を確認していない」「受信設定をしていない」理由を教えてください (250文字以内)

応用地質技術者・研究者 (応用地質学会会員) の皆様が、応用地質学 (学会とこの学問を取り巻く環境) をどのように感じているかについて、率直なご意見をいただきたいと思ひます

3. 貴方ご自身の応用地質学分野に関するお考えについて
Q31 なぜ今の仕事分野に就きましたか? (1つ選択)
Q32 当学会への入会の動機は何ですか? (最重要な動機を1つ選択)
Q33 退会するとした場合、想定される理由は何でしょうか? (1つ選択)
Q34 自分の専門分野について、今後どのようにしていきたいとお考えですか? (1つ選択)
Q35 応用地質学の技術者・研究者を取り巻く環境に関して、最も大きな問題は何か? (3つまで選択)
Q36 自分の専門分野について、技術の継承・発展はできていると感じますか? (1つ選択)
Q37 技術の継承・発展のために何が重要な役割を果たしていると感じますか? (3つまで選択)
Q38 応用地質学が現在直面している最も重要な対象領域は何でしょうか? (1つ選択)

	Q39	応用地質学の将来について(1つ選択)	選択	a)大いに発展が期待でき将来は明るい	選択	b)少し発展が期待できるかも	選択	c)将来も現在と変わらない	選択	d)この分野の将来はあまり良くない	選択	e)この分野は将来なくなる	選択	f)その他			
	Q40	今後修得したいさらに向上させたい専門分野・技術領域があれば記入してください(250文字以内)															
【Q41～Q48：学会は、若手入会者の減少と会員層の高齢化に直面しています。今後、若手・中堅の技術者・研究者にとって魅力のある学会、シニアにとって実り豊かな活動の場となる学会、多様な人々の活躍・交流を支援できる学会として発展を続けるために、どのような活動が求められるか、学会に対するご意見・ご要望をお聞かせください。】日本応用地質学会が魅力ある学会となるために、優先的に取り組むべき事項は何でしょうか？(3つまで選択)																	
4.上記を踏まえた学会への要望について	Q41	日本応用地質学会が魅力ある学会となるために、優先的に取り組むべき事項は何でしょうか？(3つまで選択)	選択	a)基準類の作成	選択	b)専門図書出版	選択	c)一般市民向けの書籍等の出版	選択	d)ホームページの充実	選択	e)一般市民を対象とした講習会、講演会	選択	f)受託研究の実施	選択	g)その他	
	Q42	会員になっていただく、あるいは会員を継続するためのメリットとして、学会が優先的に取り組むべき事項は何でしょうか？(3つまで選択)	選択	a)学会誌の充実	選択	b)年次講演会(研究発表会)の充実	選択	c)講習会やシンポジウム、現場見学会の充実	選択	d)講習会や書籍代等の値引き	選択	e)研究や教育普及関連の委員会活動の活性化	選択	f)その他			
	Q43	若手技術者を対象とした講習会、シンポジウム、現場見学会について、どのような企画やサービスが望ましいでしょうか？(3つまで選択)	選択	a)ボーリングコア観察柱状図作成基礎	選択	b)地質踏査、露頭観察	選択	c)踏査一柱状図一断面図作成など地質解析	選択	d)室内試験と解析	選択	e)孔内試験や原位置試験	選択	f)施設や現場の見学	選択	g)その他(自由記載)	
	Q44	中・上級技術者を対象とした講習会、シンポジウム、現場見学会について、どのような企画やサービスが望ましいでしょうか？(3つまで選択)	選択	a)土木地質	選択	b)応用地形	選択	c)災害地質	選択	d)地下水	選択	e)環境地質	選択	f)資源地質	選択	g)その他	
	Q45	学会員の大多数を占めるシニア層に学会活動を楽しんでいただく、あるいは活躍していただくに際し、学会として優先的に取り組むべき事項は何でしょうか？(3つまで選択)	選択	a)土木地質	選択	b)応用地形	選択	c)災害地質	選択	d)地下水	選択	e)環境地質	選択	f)資源地質	選択	g)その他	
	Q46	応用地質学分野のダイバーシティ推進(=会員の多様化の推進)のために学会が優先的に取り組むべき事項は何でしょうか？(3つまで選択)	選択	a)部会、委員会等への女性や若手等の積極的な登用	選択	b)女性や若手、外国籍などのマイノリティの会員同士がネットワークできるイベント	選択	c)研究発表会における託児所設置や英語対応など、女性や外国籍の会員が参加しやすい	選択	d)ワークライフバランス、育児・介護に係る会員企業の取り組みなどの情報提供	選択	e)その他					
	Q47	学会誌の充実に関し、どのようなテーマや企画が望まれますか(自由記載)															
	Q48	学会の将来について、課題や学会が取り組むべき内容についてお聞きします															
ご協力、ありがとうございました。																	